

救急救命(AED)講習会の実施報告

2022年安全衛生活動計画の重点実施事項としているAEDによる救急救命講習会を行いました。
今回の講習会は、①救命の手順②AEDの使用③ペースメーカーをしている場合④雨に濡れている場合
4項目を目的として実施しましたので、下記のとおり報告いたします。

記

1. 日 時 1)令和4年10月19日(水) 13:30~15:00
2. 場 所 1)新港町工場 社員集会所
3. 講 師 1)大牟田市消防署 警護課4名
4. 参加者 1)29名
- 5.教育内容 1)救命の手順
 - ① (倒れている人の)周囲の安全確認
 - ② 意識(反応)の確認 大丈夫ですか?
 - ③ (反応なしの場合)人を呼ぶ(応援依頼) 救急車(119番通報)、AEDの依頼
呼吸の確認 (約6秒位で) 口元、胸元を見る
(呼吸なし)胸骨圧迫30回・人工呼吸2回を繰り返す
胸骨圧迫
・胸骨圧迫は肘を伸ばして真上から行う(胸が5cm以上沈む位の強さで行う)
ペースは少なくとも100回/分のテンポ 絶え間なく(中断は最小に)
人工呼吸 *ためられる場合は胸骨圧迫のみを続ける
・気道を確保し人工呼吸2回
- 2)AEDの使用
 - ・蓋を開けると電源ON *メッセージは1回きりのものもあるので注意深く聞く。
 - ・電極パッドを体に貼る(胸骨圧迫を優先しながら電極パッドを1枚ずつ貼る)
自動的に心電図を解析し、音声ガイドを開始する
 - ・(電気ショックが必要な時)ショックボタンを押す
速やかに胸骨圧迫30回・人工呼吸2回を再開する
- 3)ペースメーカーをしている場合
パッドがペースメーカーとかぶらないように貼る (下に5cm程パッドをずらす)
ペースメーカー装着者は鎖骨の下に切り込み傷があり膨らみがある
- 4)雨に濡れる場合
身体についた水を拭き取り、雨に濡れないところで使用する(感電の恐れ)
 - ・ネックレス類は外す (外れない場合は上(顔)の方にずらす)
 - ・出血がある場合は、止血後に出来る範囲で行う。
 - ・基本は胸骨圧迫なので、救急隊が来るまで続ける。
 - ・救急隊が到着後は、AEDは使用した状態(パッドは貼ったまま)で引き渡す

宮本さんの体験談



心肺蘇生について



AED取り扱いについて



マネキンを使用している実践形式



雨に濡れている場合の手順



ペースメーカーをしている場合の手順

